

# 学校評価の結果について (令和6年度)

学校法人旭川カトリック学園 砂川天使幼稚園

## 1. 本園の教育目標

学校教育法に準じながら、教育の根底をキリストの教えにおき、カトリック的な人間観に基づき日々の生活の中で、真理を求め、人を愛することに喜びを感じる心を育てることにある。人格形成の最も大切な幼児期に <お祈り・親切・がまん> をモットーに、祈る心、愛する心、ありがとうの心が育つことを願い、幼児にふさわしい環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としている

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

2017年度から新制度の施設型給付幼稚園に移行し、当初は120名利用定員であったが年々園児減少が進み今年度から75名の利用定員に変更となった。少子化に伴いこれまでも園児減少対策を考慮しつつ幼児教育にあたってきたが、更に今後の教員配置やクラス編成等を念頭に置き引き続き本園のカトリック教育の根本である心の教育を中心に「幼児期に育ってほしい10の姿」を目標と共に将来に渡る「生きる力」の教育を、教職員一致した方向性で子ども達により良い成長のための保育を高める。また、保護者との日頃の子どもに関わる連絡等を丁寧に行うようにし、共に子どもの成長のためにより一層信頼関係を深め、幼稚園と保護者が一体となって運営できるように進めていく。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取組み状況
1. 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"><li>園の教育理念・教育目標の共通理解のもと、行事や保育のあり方など職員会議や学年ごとで話し合い保育計画を行っているが、定期的に教育内容を再確認する必要がある。</li><li>少子化に伴い行事のあり方を見直し、少数でも楽しめると共に他学年とも関われる保育に取り組んでいる。</li></ul>
2. 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"><li>園舎内外の安全には十分留意し職員全員で状況把握し危険が及ぶよう配慮しているが、遊具全般的に老朽化が進み補修も中々難しい状況である。引き続き様々な感染症の対策として遊具・保育室等の消毒や空気清浄機を設置し感染対策に努めている。</li><li>職員全員が共通理解のもと園児ひとり一人の様子を把握し、教師間連絡を密にし担任以外の園児にも愛情をもって対応している。</li><li>子育て支援の親子登園「ひよこルーム」をインスタ等で紹介し、新規の参加者を募るよう努めている。</li></ul>
3. 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"><li>組織の一員として自分の思いを伝えると共に他の教職員の意見を聞き、職員全員が一つのチームであることを自覚している。</li><li>保育者としての意識と自覚と責任をもった言動で園児や保護者に接すると共に、子どもの心を大切に話をよく聞き、園児一人一人との信頼関係を築き園児の成長に繋げている。</li></ul>
4. 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図る。	<ul style="list-style-type: none"><li>子どもの変化の様子や個人的な相談や連絡にも電話や手紙等での日に対応するようにし信頼関係を築くようにしている。</li><li>保護者からの相談や要望には職員会議等で提示し話し合いのもと保護者のニーズを把握し真摯に対応するよう心掛けている。また母親の就労が増えているので今後も様々なことを考慮していく必要がある。</li><li>昨年度からの父母の会活動の廃止により、引き続き必要に応じて保護者との関りを丁寧に行っていく。</li></ul>
5. 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域解放の努力をする。	<ul style="list-style-type: none"><li>例年行っている年中長児の老人ホーム慰問は感染症のため慰問出来なかったためビデオレターで交流し、また砂小5年生との交流は昨年同様楽しく触れ合うことができた。</li><li>小学校生活がスムーズになるように進学児の引き継ぎは各小学校と行っている。</li></ul>

<p>6. 研修と研究 研修・研究を積極的に行い、専門性を高め、努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カトリック学園・北私幼の一定の研修会、またキャリアアップのため保育の専門性を深めるため研修会は出来るだけリモート等で参加しているが、十分な研修を受けることが時間的に中々困難な状況である。</li> <li>・職員間、研修内容を分かち合い園内研修の充実を図っていく。</li> </ul>
<p>7. 情報公開 保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報の保護に留意しつつ、積極的に園便り等で公開する努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だより、クラスだより、地方新聞掲載、またInstagram配信を多くし保護者に園内活動をお知らせしている。また、学校評価結果においてもホームページ、園内閲覧で公表している。引き続き本園の特徴、良さ、教育目標の理解を深めていただき、社会情勢を考慮しつつ情報公開に努め、地域に根ざした幼稚園づくりに努める。</li> </ul>

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価の結果としては、今後取り組むべき課題にも上げているように地域社会との関わりや研修についての改善が見られない状況である。幼稚園としての機能が閉鎖的にならないように広く地域に目を向け関わりを持つように発信し、また時間や職員体制を調整し研修参加に努めていくようにする。更に保護者による学校関係者評価で得られた結果をもとに、賛同を得ているところはさらに深め、改善点や要望に関しては真摯に受けとめ考慮していく。</li> <li>・変化していく社会情勢の中で、幼稚園として求められていることを常に考慮しつつ、子ども達の「生きる力」を育むために幼児期の成長にカトリック幼稚園の良さをより多くの保護者に伝え理解を得られるように努めていく。</li> </ul>
---

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急災害時の具体的な対策</li> <li>・防災用具の常備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年毎月火災地震避難訓練を交互に行い園児達に災害等に対応できる知識と行動について認識させ身につけているが、今年度は様々な場面での訓練ができなかった。10月からICTのアプリを活用した園児出欠確認とGPSでのバス位置情報を取り入れ安全対策を実施した。</li> <li>・災害時にアプリを活用して早急に保護者と連絡が取れるようにしていく。</li> </ul>
<p>地域社会との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校との連携</li> <li>・子育て支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂川市が令和8年度から義務教育学校に移行し全ての子ども達が同じ学校になることを考慮し、小学校との連携を取り子ども達の学びがスムーズに行くように小学校へも理解を求めていく。また引き続き、入園前の未就園児や保護者に対しての子育て支援（ひよこルーム、園庭開放等）について、インスタやホームページを通じて子育ての場として機能的・開放的に利用できる場として発信していく。・子育て支援として、子どもだけではなく保護者が気軽に相談できる場としての幼稚園であるように努める。</li> </ul>
<p>教員の研修と園内研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の保育の中で研修を受けることが難しい状況ではあるが、出来るだけ交代で個々に必要研修を受け、得た研修内容を園内研修を通じ共通理解しそれぞれの保育の場に活かせるよう自己研鑽に努めていく。また引き続き保護者の気持ちに寄り添い連絡を取りながら、幼稚園や教職員を信頼してもらえるように保育者としての資質と技術の向上を目指していく。</li> </ul>

#### 6. 学校関係者の評価

<p>今年度も保護者全員に学校評価アンケートをお願いした。本園は砂川市のみならず他の市町からの入園もあり地域の幼稚園として知られている。多くの方に当幼稚園の根底である心の教育「キリスト教精神に基づいた教育」を中心においた保育に理解と協力を得ると共に行事、教職員の対応、満3歳児保育、預かり保育などにも賛同を得られた。しかし、安全管理、教職員体制など様々な意見や要望、感想があり保護者の思いに真摯に目を向け、引き続き今後の課題として考慮していく必要がある。</p> <p>今後も保護者が安心して子どもを預けられる幼稚園であるように信頼関係を大切に、今後も改善できることと理解していただくことを精査し共に理解し協力することで、子どもたちのより良い成長へと繋がる幼稚園であるように努めていく。</p>
---

#### 7. 財務状況

<p>大手監査法人である太陽ASG有限責任監査法人（東京）の監査を受け、適正に運営されていると認められている。また、法人本部の財務状況報告により効率的な運営に努めている。</p>
---

令和2年度の学校関係者評価としては4、3が多かったが、様々な意見、要望もありその結果、下記のようなまとめとなった。

- ① 幼稚園からの情報については、教育目標や家庭への連絡を保護者に明確に周知しているとの認識と共に、子どものその日の出来事や保護者の質問等に対してもっと応えてほしいとの回答もあり保護者の求めることを改めて考えていく。
- ② 幼稚園の教育内容については、殆んどの回答が当幼稚園の根底である心の教育「カトリック教育」を中心に保育を行っているであった。その中で少数意見であるが、数や文字に関することを行っていない等の回答があったが、今後より具体的な説明を心がけ保護者の理解を深められるようにする。
- ③ 子どもの様子については、全体的に子どもは家庭で保育者や友だちのことを喜んで話し登園を楽しみにしているとの回答で、今後とも子どもたちが幼稚園が大好きな気持ちを大切にしてく。
- ④ 幼稚園の機能については、今年度コロナ対策として様々な影響をきたし行事や保育参観等の時間短縮や保護者間の交流や外部との関わりがなかったことが回答から感じられる。更に緊急時の連絡について一斉メールの要望が多い事は、早急に改善すべきことである。また、長期預かり保育の日数、時間配分等の改善要望があった。

今年度はコロナ対策で様々な影響が生じ、特に最終学年の年長の保護者とは行事のあり方や役員からの提案に対する幼稚園の対応などに多少のずれがあったように感じる。担任教師への信頼や質の高さは認めつつも、例年と同じようにいかなかったあらゆることに、父母の会役員の活動の場が十分でなかったこともこのような結果の一因ではないかと思う。しかし今回の結果を受け、異例の事態が発生した時ほど園と保護者の関係性が見えてくることを真摯に受け留め、改善できることすべきことを精査し共に理解し協力することで、子どもたちのより良い成長へと繋がる幼稚園であるように今後も努めたい。